



「空は善有り」

新年明けましておめでとうございます。

去年はまほろば農園野菜をお買い求め下さり、心から感謝いたします。なお、なかなか品質の良い野菜をお届けできなかったことを深くお詫び申し上げます。

今年は農園メンバーの一人が研修を終えて新規就農することになりましたので、一人減ったの農園スタートとなります。人数が減るので、管理が行き届かない所もあるかと予想されます。そこで今年は管理徹底型の農業で少数品目で品質向上を目指していきたいと思います。例年天候に左右されながらの作業なので、その辺も天候に左右されないように対策していきたいと思います。

まほろば自然農園チーフ：福田 直之

毎年従業員の手の行き届かないところをボランティアの皆さまに助けていただき、ボランティアの皆さまには本当に感謝いたします。ありがとうございます。

私の好きな言葉に「空は善有りて悪無し、智は有なり、理は有なり、道は有なり、心は空なり」と言う言葉があります。簡単な説明によると、心を空にすれば、見えなかったものが見え、聞こえなかったものが聞こえ、考えるより先に自然と身体が動き、すべては良い方へ進むと言うことみたいです。

この言葉を胸に、今年もより一層引き締めて農園に力を入れていきたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。
ぜひ皆様も素晴らしい小別沢の大自然を散歩してみてください。

卒業のご挨拶

まほろば自然農園研修生：川合 浩平

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。昨年から引き続き2回目のご挨拶となります。

農園での研修も2年となり、いよいよ独立への卒業が目前に迫っています。(まだ農地は決まっていませんが)色々勉強させていただき、まほろばでの貴重な2年間を過ごすことができ、感謝の言葉しかありません。

新年のご挨拶ではありますが、卒業のご挨拶も兼ねて、なぜ農園で研修に入ったかを少し書かせてと思います。3年ほど前の初めて農家になろうと思った時の想いは、自然を相手にというか、いかに周りの環境を大切にしながら体に悪くない野菜を作れるかでした。当時子供が生まれたばかりで「食」というモノを改めて考えさせられていた時期でした。有機農業を考えたのは、初めて自分で栽培した虫食いの無残なキャベツを見て、スーパーに並んでいるキレイなキャベツと農業に恐怖を覚えたからです。

公的な新規就農の窓口となっている機関の方々は「有機栽培は食べれないし受け入れ先がない、家族がいるならなおさら慣行(農業・化学肥料)農法。経済的に余裕が出来たら有機をやりたい」の一点張りでけんもほろろ。まずは生活することが一番と思い、一時期は有機栽培を諦めようとも考えました。

某地方の町全体で受け入れている農業いっぱいの農業研修に入ることも考え、その土地に再三足を運んだり、

色々で見学し話を聞いたりもしました。

しかし農業を知るために始めた土壌医検定という土の資格の勉強をすればするほど、土と化学肥料は未解明の部分がたくさんある事がわかり、化学肥料の影の部分も見えてきました。

—自分は農業がやりたい?or安全な食べ物を作りたい?—
幻想と現実、考えれば考えるほど手段が目的となってしまう、いつしか自分がなぜ農業をやろうと考えたのかすらわからなくなりそうでした。

そんな迷いの中、まほろば自然農園を知り、門を叩きました。初心に立ち返ることが出来た、それが2年前の今頃です。今は3年前と違い、無農薬でキャベツを作れることも、農業の楽しさ、辛さも知ることが出来ました。

いずれは自分の畑で親子で野菜畑を体験してもらえそうな畑にしたいくて、色々アイデアを練っている最中です(まだ農地はきまっていませんが…)もしお店の売り場に野菜が並んでいたら、無事に就農できたんだな、と思いついて頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本年が皆様にとって善き年でありますよう、ご祈念申し上げます。



謹賀新春

今年もよろしくお願いいたします。



一つ一つ感謝の気持ちと小さな喜びを見出す一年に

まほろば自然農園研修生：池田 尚樹

新年 あけましておめでとうございます。

去年も変わらず、まほろばを御愛顧いただき、また農園野菜をたくさんお買い上げいただきましてありがとうございます。

さらに、農園に度々足を運び、貴重な時間を割いて不足しがちな労働力を補っていただいているボランティアの方々にはこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

「まほろば」とご縁を頂いて早4年目になりますが、あらためてこの数年を振り返ってみると、世界中で異常気象が当たり前のように報道される中、確実に皆様の元へたくさんの安全な野菜をお届けできていることは、とても幸運なことなのかもしれません。

農業というものが、自然の恵みを頂く営みである反面、天候に左右され、その力に翻弄され、それまで

の努力が無に帰すること、長い人類の歴史の中では日常茶飯事といっても過言ではなくらい起こっていることを、実感できないまでも想像してみますと、日々の様々な苦勞も、本来は感謝の念と共に受けとめて行くべきことなのかもしれません。

個人的な苦勞にともすればクローズアップされがちな意識を出来るだけ平静に保ち、普通にいられることの幸せ、足るを知るころ、身の丈に合った言動の中に一つ一つ感謝の気持ちと小さな喜びを見出していけるような一年を過ごしていけたらと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



いつもまほろばをキレイにしてくれて
ありがとう!!!!

ピースマイル

発寒の「ピースマイル」さんが、毎日お掃除に来て頂いています。



●明けましておめでとうございます。今年も、宜しくお願いします。今年も頑張ります。
(ピースマイル：相馬 敏明)



●あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。昨年に続き頑張ります。
(ピースマイル：西野 淳子)



●明けましておめでとうございます。昨年は大変にお世話になりました。今年も一生懸命頑張ります。
(ピースマイル：松森 正倫)



●明けましておめでとうございます!ピースマイルの祐川純です。本年も何かと色々宜しくお願い致します。
(ピースマイル：祐川 純)

